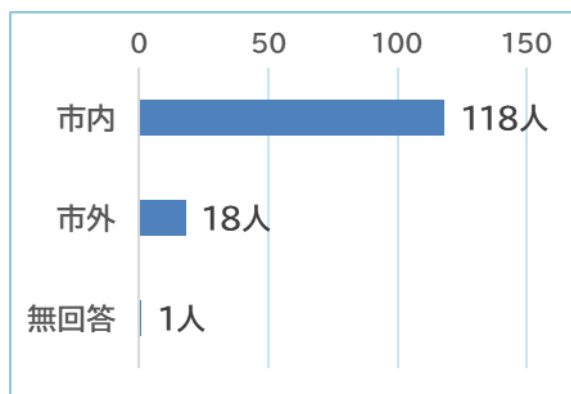
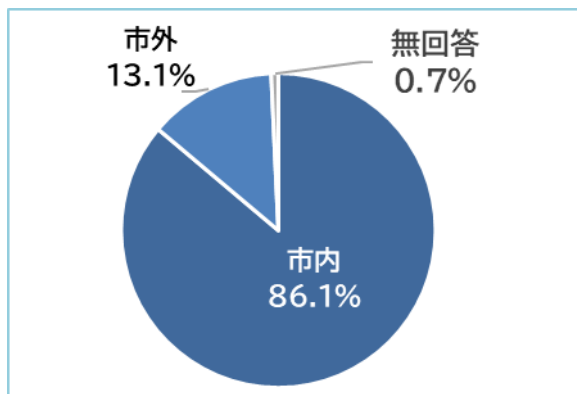


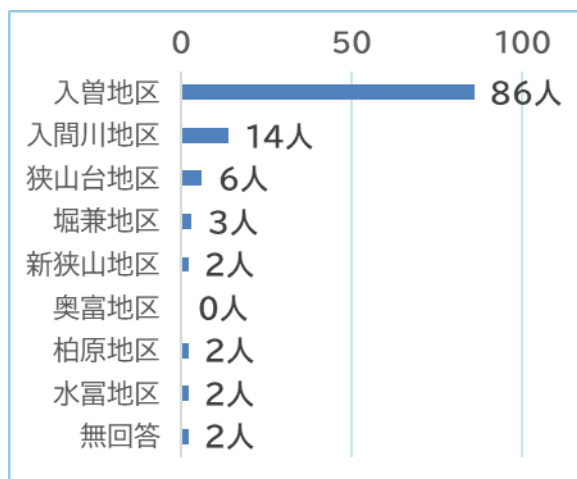
Ⅱ 調査集計結果

問 1 回答者の属性、利用目的について

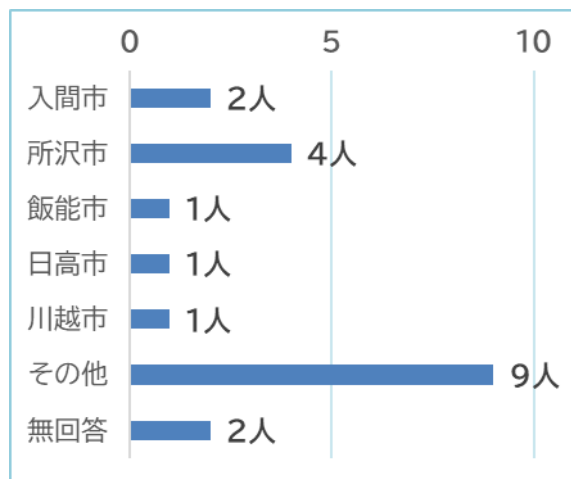
① 住まい



※市内の住まい内訳

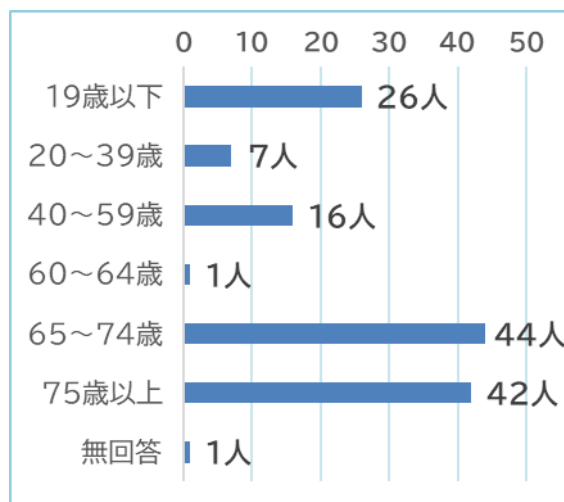
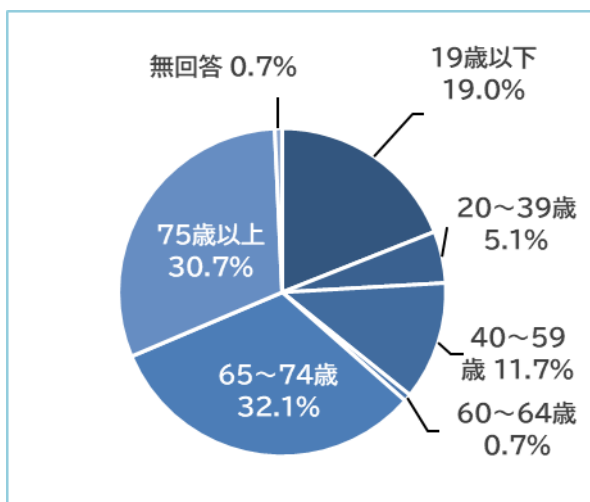


※市外の住まい内訳



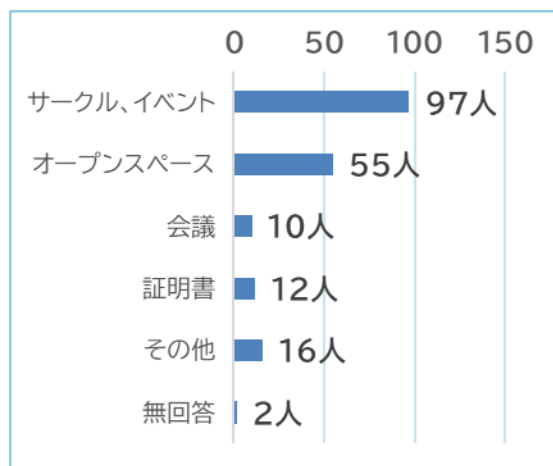
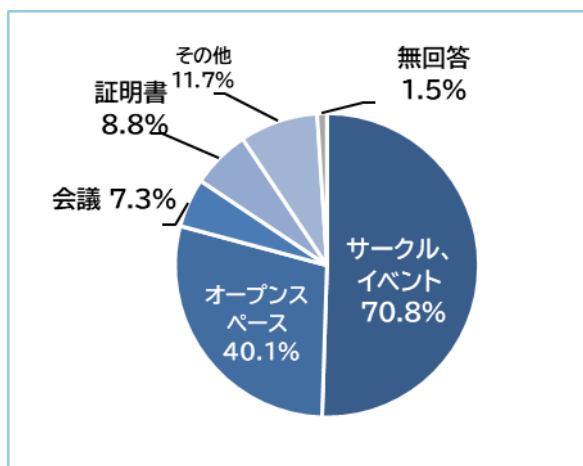
住まいについては、市内が86.1%その内、入曽地区の方は86人であった（全体の73.5%）。その他の地域としては、市内は入間川地区、市外は所沢市が最も多かった。

② 年齢



回答者の年齢は、「65～74歳以上」が最も多く（32.1%）、回答者の約6割が65歳以上であった。

③ 利用目的（複数回答可）

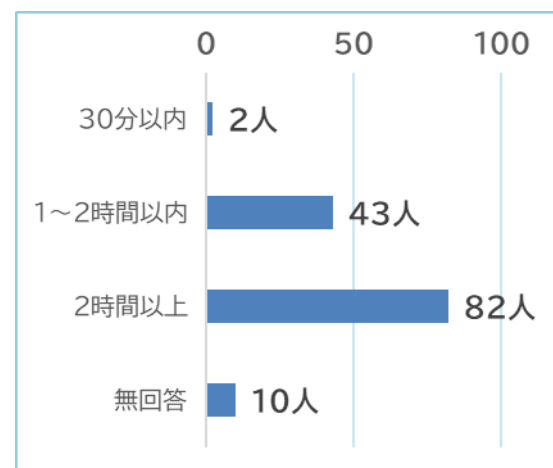
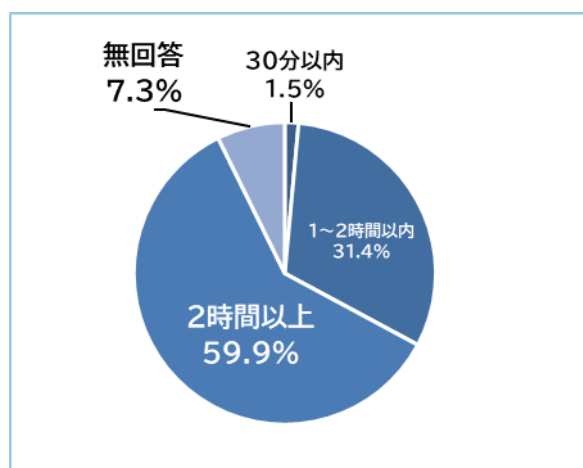


「サークル活動やイベントへの参加」が70.8%と最も多く、「オープンスペースの利用」が40.1%、「その他」が11.7%と続く。

【その他回答】

・ダンス練習 ・楽器練習 など

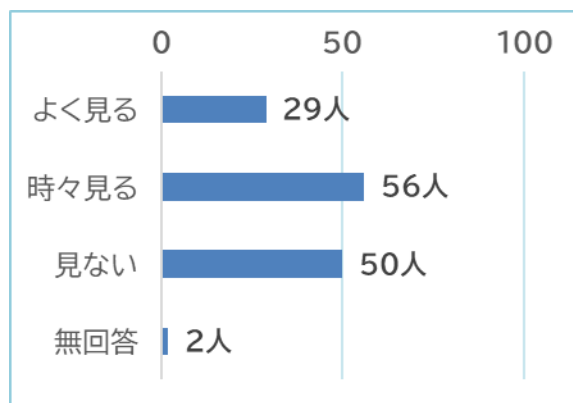
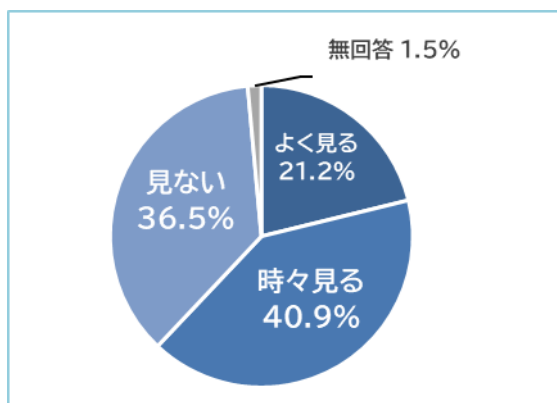
④ 利用時間



「2時間以上」59.9%、「1～2時間以内」31.4%となり、合計91.3%の利用者が1時間以上滞在している。

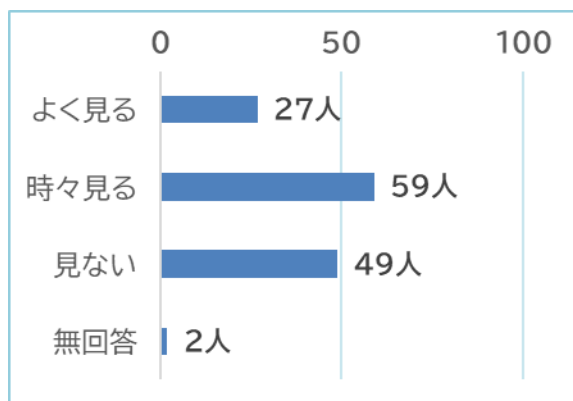
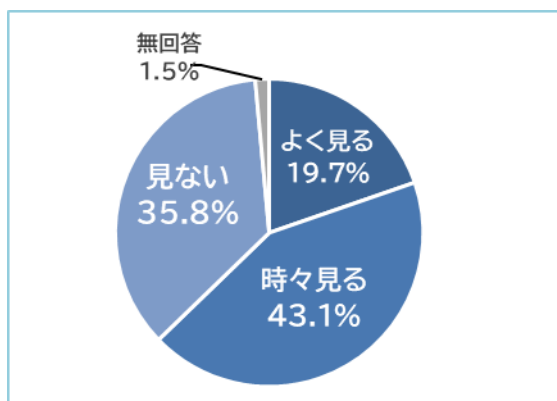
問2 広報や講座・イベントについて

①センターだより



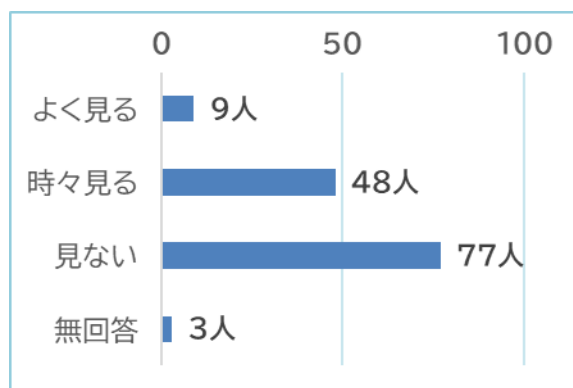
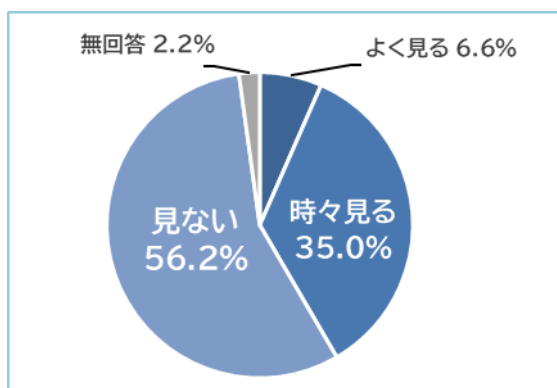
「よく見る」と「時々見る」を合わせて 62.1% (85 人) である一方、「見ない」は 36.5%であった。

②チラシやポスター



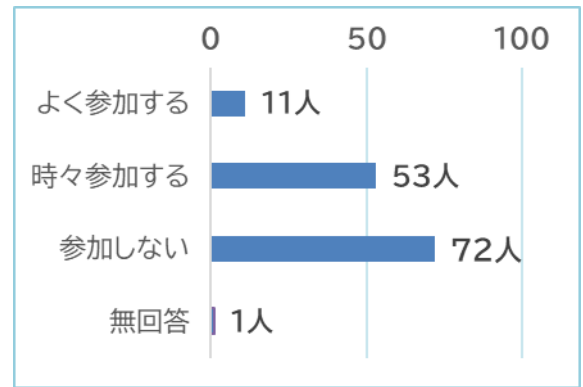
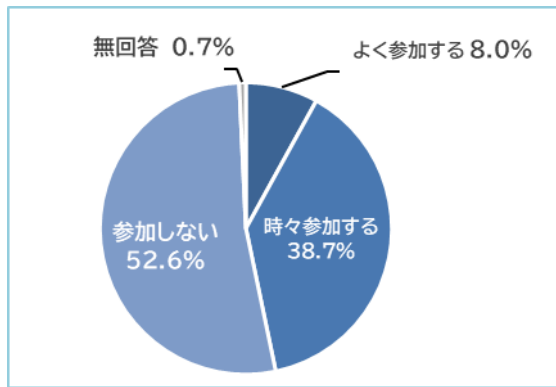
「よく見る」と「時々見る」を合わせて 62.8% (86 人) である一方、「見ない」は 35.8%であった。

③センターのホームページ



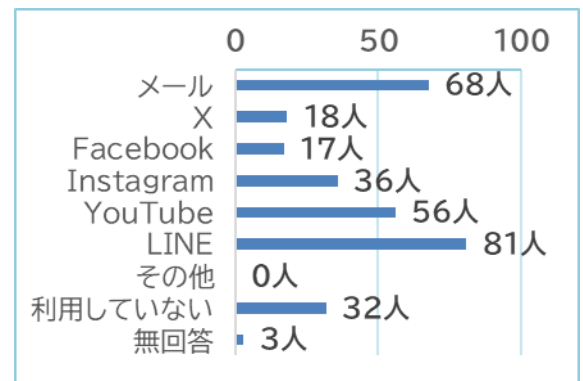
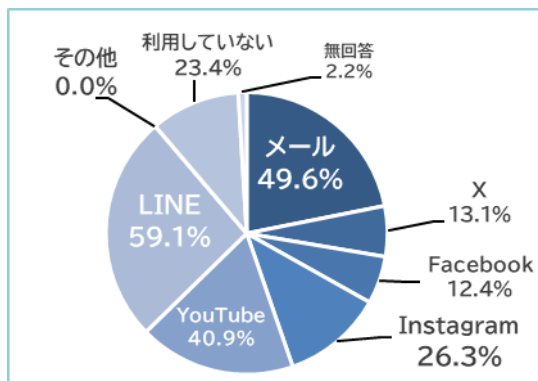
「よく見る」と「時々見る」を合わせて 41.6% (57 人) である一方、「見ない」は 56.2%であった。

④講座やイベント



「よく参加する」と「時々参加する」を合わせて 46.7% (64 人) である一方、「参加しない」は 52.6% であった。

⑤利用しているSNS等（複数回答可）

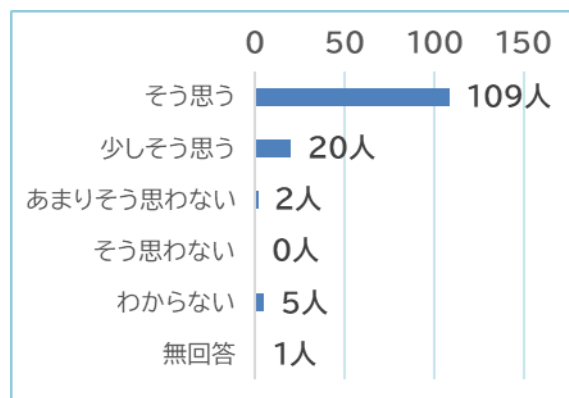
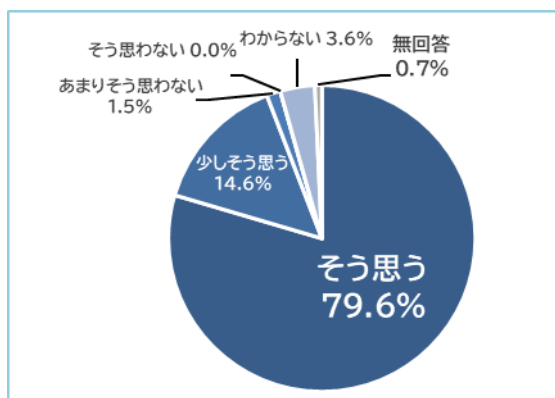


「LINE」の利用が 59.1% で最も多くの利用がある一方で、「メール」49.6%、「YouTube」40.9%、「Instagram」26.3%、「X」13.1%、「Facebook」12.4%の利用があった。

問3 施設や設備、職員の対応、総合評価について

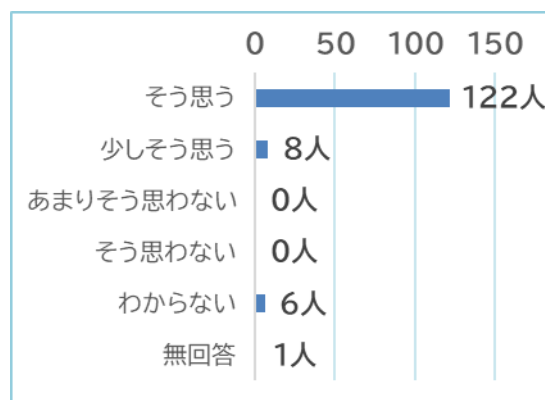
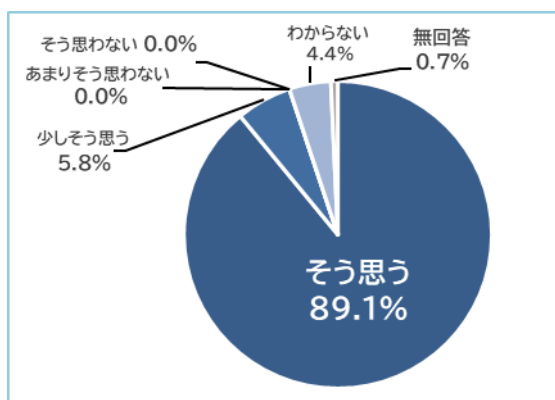
① 施設や設備について

ア だれでも気軽に立ち寄れる雰囲気である



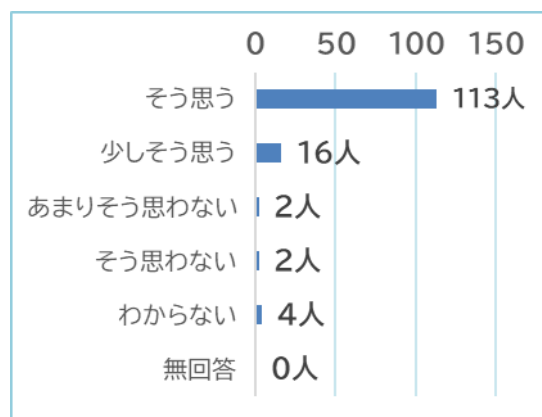
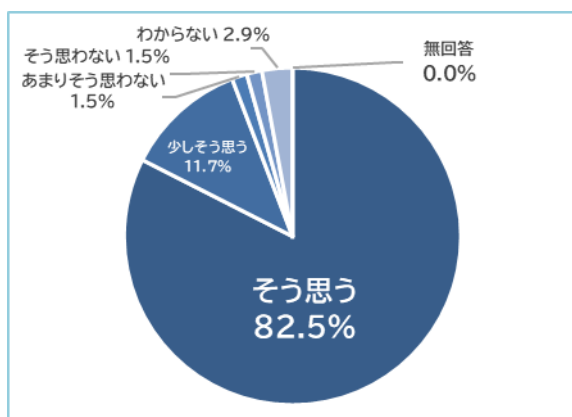
「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて 94.2%、対して「あまりそう思わない」、「そう思わない」は合わせて 1.5%であった。

イ 共用部やトイレの清掃は行き届いている



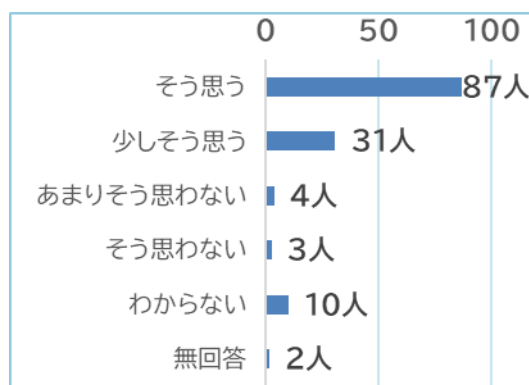
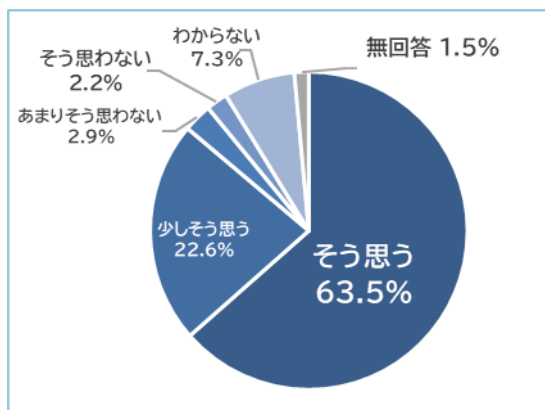
「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて 94.9%、対して「あまりそう思わない」、「そう思わない」は合わせて 0%であった。

ウ 部屋の照明や空調は適切である



「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて 94.2%、対して「あまりそう思わない」、「そう思わない」は合わせて 3%であった。

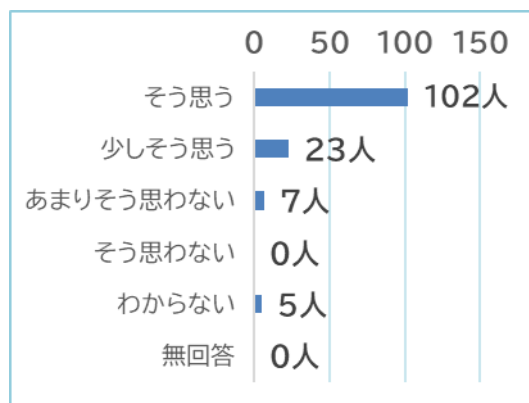
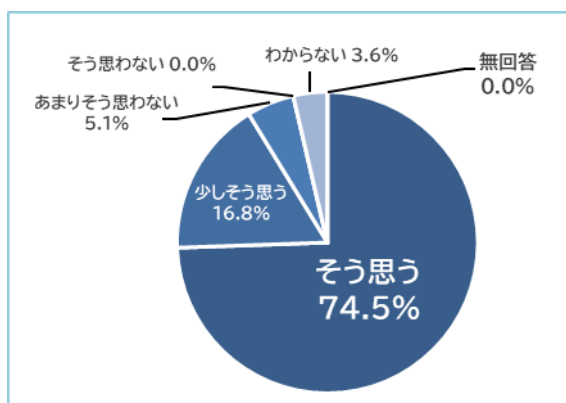
エ 設備や備品は充実している



「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて 86.1%、対して「あまりそう思わない」、「そう思わない」は合わせて 5.1%であった。

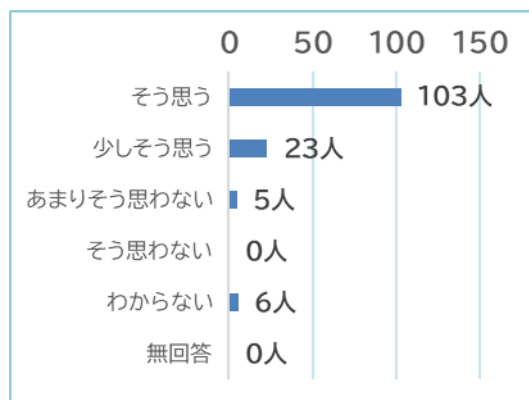
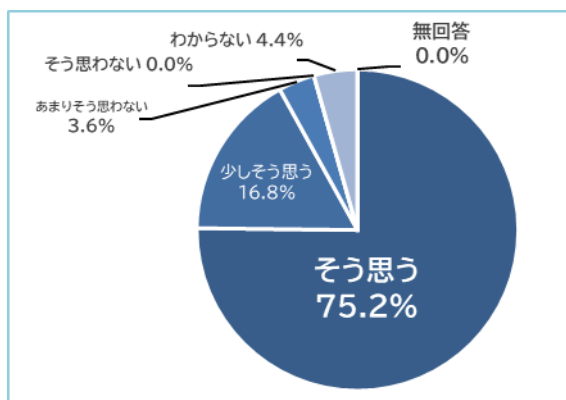
② 職員の対応について

オ 笑顔であいさつし、利用者を気持ちよく迎えている。



「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて 91.3%、対して「あまりそう思わない」、「そう思わない」は合わせて 5.1%であった。

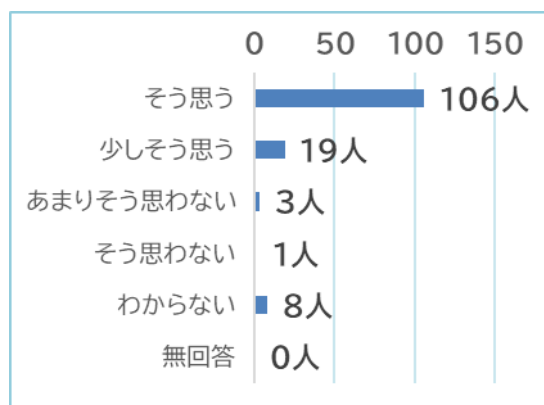
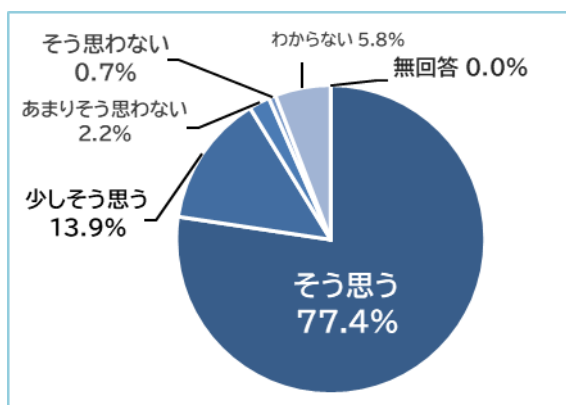
カ 質問や相談をしたときに、親切に対応している。



「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて 92%、対して「あまりそう思わない」、「そう思わない」は合わせて 3.6%であった。

③ 総合評価

施設や設備、職員対応含めて総合的に満足している

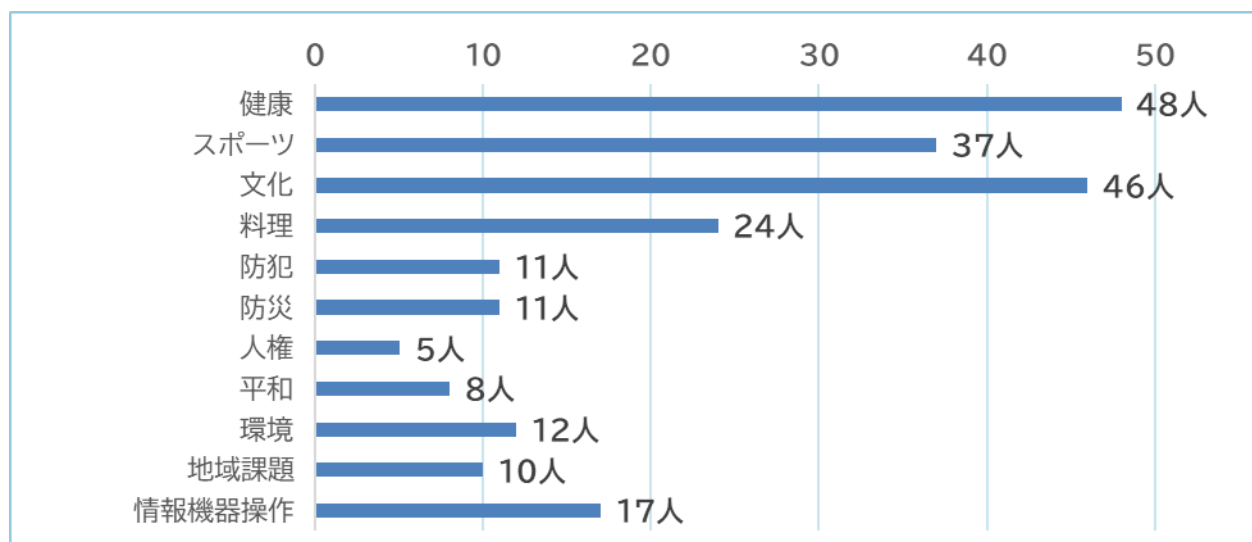


「そう思う」、「少しそう思う」は合わせて 91.3%、対して「あまりそう思わない」、「そう思わない」は合わせて 2.9%であった。

問 4 参加したい講座やイベントについて（複数回答

可）

【回答数 259人（延べ）※無回答除く】



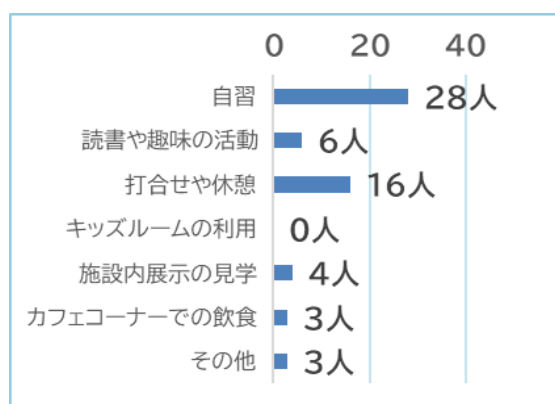
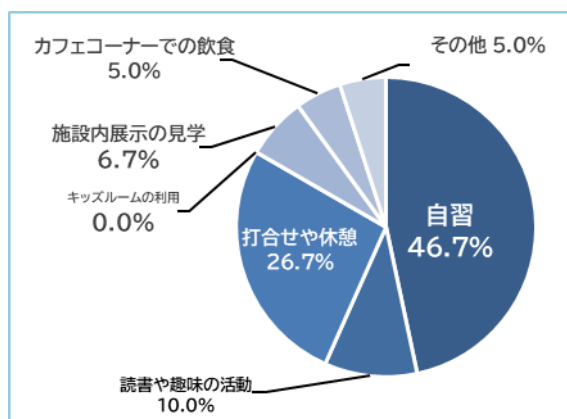
回答上位5項目は健康・文化・スポーツ・料理・情報機器操作であった。

また、具体的に参加したい内容があれば記述いただいた。主な記述回答は以下の通り。

・歴史教室（1件） ・ストレッチ講座（1件） ・栄養に関する講座（1件）

問5 オープンスペースの利用目的について（複数回答可）

【回答数：60人（延べ）】

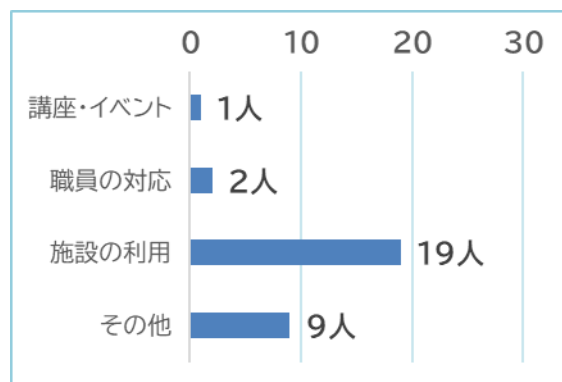
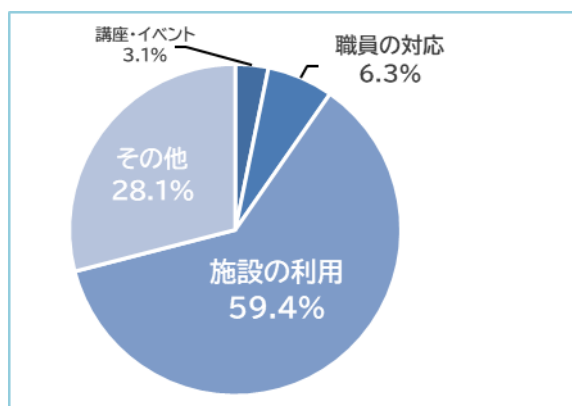


回答上位3項目は、「自習」が46.7%で最も多く、次いで、「打合せや休憩」が26.7%、「読書や趣味の活動」が10%、となった。

令和5年度と比較すると、「自習」、「打合せや休憩」の割合が増えている。

問6 自由記入欄

【回答数：31人（延べ）※無回答除く】



自由記入欄では合計で31件のご意見が寄せられた。

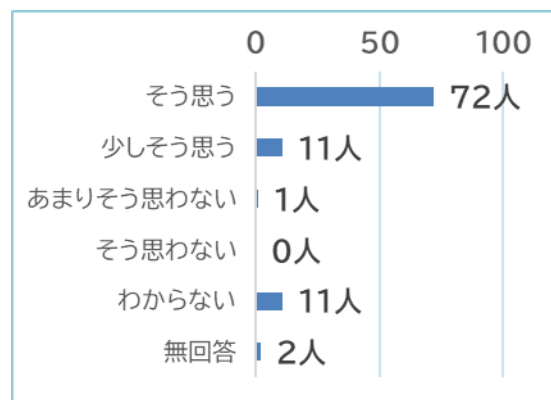
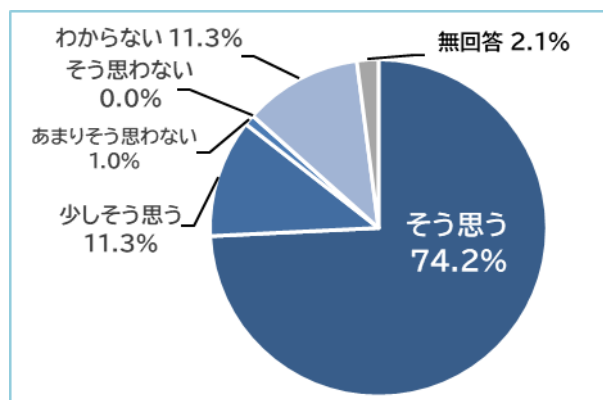
※具体的な意見等は、P14～P15 「Ⅲ 自由記入欄におけるご意見について」に記載

問7 サークル活動に関する質問について

これより先は、サークル活動をされている方を対象とした質問とその回答です。

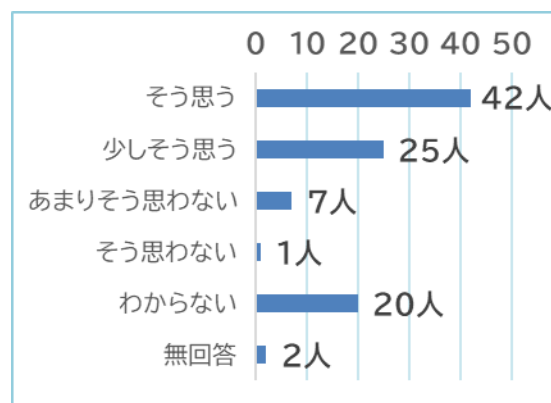
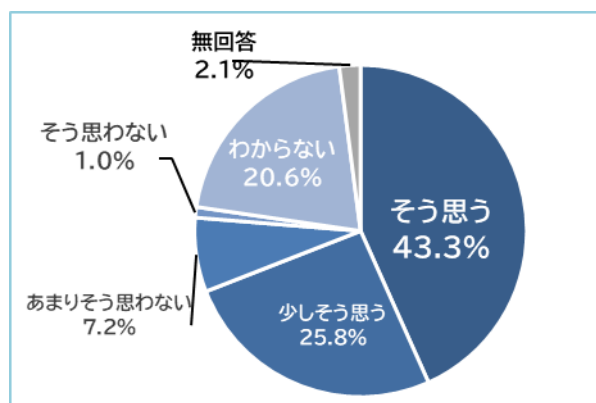
そのため、回答率は問1③（利用目的）において、「貸室でのサークル活動」と回答した人数（97人）を基に算出しています。

① サークル活動は、充実した生活を送る一助になっている



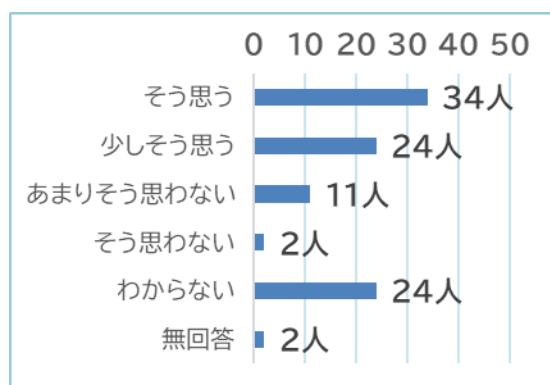
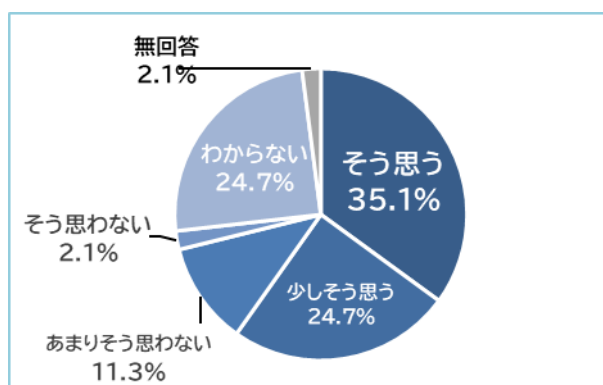
「そう思う」、「少しそう思う」を合わせて85.5%、対して「あまりそう思わない」は1%であった。

② 地域交流センター（公民館）は、サークルの会員増や活性化、運営の円滑化のために、適切に助言や支援をしている



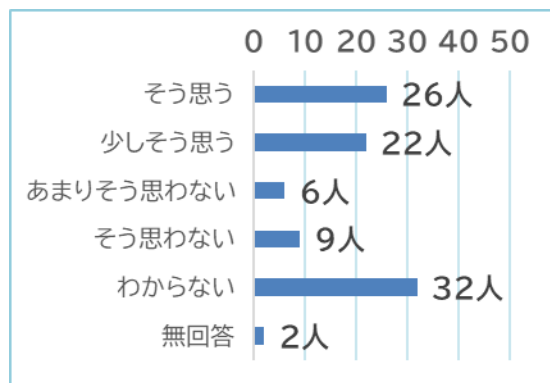
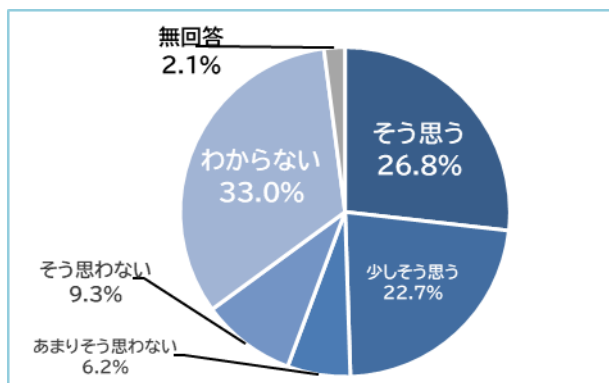
「そう思う」、「少しそう思う」を合わせて69.1%、対して「あまりそう思わない」、「そう思わない」は合わせて8.2%であった。

③ サークルで学んだことを、地域のために活かしている



「そう思う」、「少しそう思う」を合わせて 59.8%、対して「あまりそう思わない」、「そう思わない」は合わせて 13.4%であった。

④ 今後、皆様の活動成果を展示やオンライン（ホームページや動画など）で発表する機会があったら参加を希望する



「そう思う」、「少しそう思う」を合わせて 49.5%、対して「あまりそう思わない」、「そう思わない」は合わせて 15.5%であった。

総括（分析と考察）

- 問2①（センターだより）において、「よく見る」「時々見る」と答えた方は85人となった。センターだよりは入曽地区内の配布を主としており、問1②（住まい）における入曽地区在住者86人の目に留まっていることがうかがえる。一方、問2③（センターのホームページ）では「見ない」が多数であった。ホームページでは施設に関する情報を広く利用者に伝えることができ、施設の運用に関する重要情報を速やかに伝える役目もあることから、アクセスを増やす取り組みをするとともに、適切でわかりやすい運営に努めていきたい。
- 問2④（講座やイベント）については、「参加しない」が52.6%と過半数を超える結果となった。今後、講座やイベントを開催するにあたり、問4（参加したい講座等）を参考にしながら学習ニーズや時代の変化等を的確に捉えた事業を実施していくことが課題となる。
- 問3（施設の設備、職員の対応）では、全ての設問で肯定的な回答が過半数を占め、利用者から大きな不満がないことが示された一方、問6（自由記入欄）では、多くのご意見をいただいた。施設の利用についての意見が6割以上であり、施設の構造上実現が難しい要望もあるが、工夫次第で実現が可能なものについては、利用者の協力を得ながら改善を図っていきたい。
- 問5（オープンスペースの利用目的）ではサークル活動前後の「打合せや休憩」といった貸室との併用と考えられる利用が一定数あるものの、「自習」の割合が最も多く、オープンスペースのみの利用が前年度と比べ更に増えていることがうかがえる。一方で、キッズルームの利用、カフェコーナーでの飲食の回答が減っていることから、キッズルーム、カフェコーナーを使ったイベントやPR等を展開し、更なる利用促進を図っていく必要がある。
- 問7（サークル活動）では、サークル活動にやりがいを感じている方が多数であり、学んだ成果を展示やオンライン（ホームページや動画など）で発表したいと感じている方も多数であった。学びの成果を発表できる機会の増加は、地域の活性化にもつながることから、問4（参加したい講座等）を参考に地域の人材を活かしつつ、多様な学習活動の場を提供していきたい。
- 今回より入曽地域交流センター利用団体会員へのアンケートを原則フォーム回答に変更したが、前年度と比べ回答件数は減少したものの、利用に関する満足度等の結果に大きな影響がないことが分かった。

以上の他、今回のアンケート結果を十分に分析し、より多くの地域住民に当施設を利用していただける環境づくりを進めていくこととする。